

ゼミナール紹介

担当者名		青木 勝一						
e-mail アドレス		masa@bunkyo.ac.jp						
研究室		3402						
在室曜日・時限		月曜日 4 限 木曜日 3 限						
個別説明会（日時・場所）		個別説明会は行いません。青木から直接説明を希望される場合はゼミ見学にお越しいただければご質問にお答えします。また、資料の都合がありますので、ゼミ見学は希望される日の前日までにご連絡願います。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/15
	可否	○	○	○	○	○	○	×
	場所	1102PC	1102PC	1102PC	1102PC	1102PC	1102PC	1102PC
2025 年度担当科目		公共経営入門、公共経営論、地域経営論、ソーシャル・イノベーション論、経営学特論 B、知の探究、知のリテラシー、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ						
選抜方法		希望調書の内容と成績を重視します。その他、青木担当科目の単位取得状況も確認し、面接を実施します。						
ゼミナール紹介		青木ゼミは社会的課題の課題に積極的な役割を果たしたいと考える人に対し、様々な社会的課題をとらえ、考える能力を身につけること目的とするものです。 （１）テーマ：「地域の公共政策」 （２）特に適している人 ・ 地域社会の課題への関心の高い人 ・ 公務員、非営利組織（財団法人など）に就職したい人 ・ 民間企業の場合、地域交通や不動産、地方銀行など地域密着型の企業に就職したい人 （３）ゼミの内容 「地域の社会的課題とその課題解決のための政策」について、3 年生は各自の関心に基づき幅広いテーマを扱います。各人のテーマは参加者の関心に基づき開講時に決めます。また、受講者の関心度（やる気）と能力に応じて個別に調整しながら行うことになります。 （４）ゼミ選択に当たっての注意事項 ・ 当ゼミは卒業論文の作成が必須です。調査報告に際しては卒論を前提とした内容を期待しております。 ・ Excel の基本的操作は必要です。 以上は概略です。詳細をお知りになりたい場合はゼミ見学にお越しになり、ご質問願います。						

ゼミナール紹介

担当者名		浅川 雅美						
e-mail アドレス		asamasa@bunkyo.ac.jp						
研究室		なし（湘南校舎 1316 教室）						
在室曜日・時限		あだち校舎への出校日は月曜日です。						
個別説明会（日時・場所）		事前に、メールをいただければ、月曜日（あだち校舎出校日）の日に、個別に対応致します。または、別日でもオンラインで対応します。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/3	11/12	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15
	可否	可	不可	可	不可	可	可	不可
	場所	1101	1101	1101	1101	1101	1101	1101
2025 年度担当科目		消費者行動論（経営学部、湘南校舎共通教養） 生活と広告（湘南校舎共通教養）、 個人と社会（湘南校舎共通教養） 社会調査の統計学（情報学部）、情報学研究演習（情報学部） ゼミナール（経営学部）						
選抜方法		ゼミ内容と志願理由の適合性および成績によって選抜します。						
ゼミナール紹介		3 年次は、1～4 人単位で以下に示すように、テーマ設定、調査票作成、調査実施、解析、プレゼンテーションをします。 ・調査のテーマを決めるために、実際の論文を検索して、読んで、その内容を把握する。 ・研究テーマを決定する。 ・調査票を作成する ・調査実施 ・データを集計・解析する ・プレゼンテーションをする 4 年次には、①3 年次に研究した内容を論文にまとめる、②3 年次に研究した手法を用いて好きなテーマで再度調査を行う、のいずれかを選択していただきます。 どうぞよろしくお願い申し上げます。						

ゼミナール紹介

担当者名		新井立夫						
e-mail アドレス		tatsuo@bunkyo.ac.jp						
研究室		3 5 3 8						
在室曜日・時限		月：1、4、5 水：5						
個別説明会（日時・場所）		メール等で、問い合わせをしていただければ、随時、個別対応いたします。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17
	可否	○	×	×	○	○	○	○
	場所	1201	フィールド	フィールド	1201	1201	1201	卒論
2025 年度担当科目		基礎簿記演習、キャリア形成、商業科教育法Ⅰ、商業科教育法Ⅱ、総合演習、教育実習B（高校）、教育実地研究、教職実践演習、キャリア・職業指導、インターンシップ、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、卒業研究、公共経営実地演習、教職概論、生徒指導・進路指導論、知へのナビゲーション						
選抜方法		提出書類、成績及び面接結果等を総合的に勘案して選抜を行う。						
ゼミナール紹介		本ゼミナールですが、学校種を問わず教員を目指し、教職課程を履修登録している学生は、新井ゼミの履修を必ずしてください。 民間企業を目指す学生で、キャリア教育（進路指導含む）及びキャリアカウンセリングの必要性を認識し、企業の人材育成の仕事に従事したい者。 公務員を目指す者やNPOなどの団体に就くことを目標とする者、あるいは、将来「キャリア・デベロップメント・アドバイザー」などの取得を目指す学生に履修してほしい。 学習は、キャリア教育の意義、必要性を理解することから始まり、キャリアカウンセリングの理論や演習を通し、キャリアコンサルティング、キャリアアドバイザーなど「他人のキャリアを支援する」専門職に就ける人材育成とともに、「自分のキャリアを見つめなおしたい」という目的などを体験的に学び、キャリアビジョンを描き、意図的に行動し、実践できるようになることが、到達目標である。また、必要に応じて研究発表会、ゼミ遠征（湘南校舎、越谷校舎等）、自主的な勉強会を実施するものとする。 【到達目標】 ①授業中に明示する重要なポイントを概ね理解できる。 ②キャリア教育・進路指導の実態とその課題を理解できる。 ③キャリアカウンセリングの必要性を認識し、職業をめぐる諸問題を多面的に学習し、進路指導・キャリア教育の推進のなかで実践できる。 ④進路アドバイザー検定を受験し、マスター合格することができる。						

ゼミナール紹介

担当者名		石田 晴美						
e-mail アドレス		ishida@bunkyo.ac.jp						
研究室		3519 研究室						
在室曜日・時限		水・木・金曜日 昼休み						
個別説明会（日時・場所）		水・木・金曜日 昼休み 3519 研究室（希望者は要連絡）						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17
	可否	○	○	○	×	○	○	×
	場所	2306	2306	2306	×	2306	2306	×
2025 年度担当科目		基礎簿記演習、財務諸表分析、公会計、行政評価、知の探究、 知のリテラシー						
選抜方法		定員超過の場合は、成績および志望動機をもとに判断する。						
ゼミナール紹介		本ゼミは「財務会計」をテーマとする。 教員が与えたテーマについて学生が調べ発表する形式と企業等の財務諸表分析、日経新記事深読み発表を交互に行う。各テーマでは、基本書・参考書の他、各種会計基準等の原本に必ず触れることを心がけている。 ゼミ在籍中に日商簿記 3 級試験に合格することがゼミ生に課せられる最低限の課題である。 評価方法は、ゼミナールへの参加、授業への取り組み、課題の提出、日商簿記 3 級の資格取得等により評価する。無断欠席は認めない。 ゼミは、学生自らが調べ考え、発表する場であることを肝に銘じること。						

ゼミナール紹介

担当者名		石塚 浩						
e-mail アドレス		ishizuka@bunkyo.ac.jp						
研究室		3410 研究室						
在室曜日・時限		月火水 (ゼミナール実施曜日：ゼミナールⅡ月曜4限、ゼミナールⅠ月曜5限)						
個別説明会（日時・場所）		予定なし						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付		11/3		11/17	11/24	12/1	
	可否		○		○	○	○	
	場所		2106		2106	2106	2106	
2026 年度担当科目		人間と経営学 経営管理論Ⅰ 経営管理論Ⅱ 組織デザイン論						
選抜方法		提出書類 成績						
ゼミナール紹介		グローバル化が進み、ITの継続的な発展によって将来、今ある仕事のいくつかは消滅するといわれます。今後、人間に求められる仕事は、答えのない課題を創造的に解決することです。場合によっては、課題そのものが与えられていないこともありえます。 このゼミナールでは、経営戦略について考えることをテーマにしています。経営戦略とは会社を存続させ発展させる方法のことです。最近では会社以外に、自治体などの非営利組織も対象です。この経営戦略について「考えること」「議論すること」を徹底的におこないます。将来の世の中において不可欠な人材になってもらうためです。 経営戦略の理論や手法を学んだうえで、実際の事例をみていきます。この会社の戦略行動は、自社並びに業界にどんな影響をもたらすのか。自分が経営者なら、どう判断するか。担当部署の人員であるなら、何をどう提案するか。これらがテーマになることが多いです。加えてグループワークを行います。ひとりで解決できるビジネスや社会の問題は少ないです。じっくりと議論することで、問題の本質がみえ、解決策がみつかりやすくなります。ほんものの議論は創造的な結果をもたらすからです。 このゼミでは、4年生になってから、卒業論文の執筆をしてもらいます。経営学部では卒論を書かなくても卒業はできますが、創造性を育み発揮させる良い機会と考えています。みずから選んだテーマに対して、リサーチクエストを設定し、先行研究を行った上で、未だ指摘されていない独自の解を作り出すという創造的な営為の醍醐味を味わってほしいと思います。						

ゼミナール紹介

担当者名		上山 晋平						
e-mail アドレス		shinpei_kamiyama@bunkyo.ac.jp						
研究室		3520						
在室曜日・時限		金曜日・3、4 限						
個別説明会（日時・場所）		12/15（月）5 限・2206 演習室						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/3	11/12	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15
	可否	×	×	×	×	×	×	○
	場所							2206
2025 年度担当科目		基礎簿記演習、企業会計、管理会計論Ⅰ・Ⅱ、原価計算Ⅰ・Ⅱ、知の探求、ゼミナールⅠ・Ⅱ						
選抜方法		申込人数によっては抽選を実施する。						
ゼミナール紹介		本ゼミナールでは、主として管理会計、原価計算およびキャリア形成の方法について学びます。 3 年生の春学期は、基本書のテーマごとに担当者を決め、レジュメを PowerPoint で作成、報告頂き、ゼミ生間で討論を行います。適宜、演習の時間を設け、計算の習得を行います。ゼミ生の希望によっては、資格試験取得に関する授業を行います。また、本格的な就職活動に向けて、就業体験のできる夏期インターンシップ参加に向けて、準備を進めて参ります。 秋学期は、管理会計のより専門的な分野となる、企業価値評価を含む経営分析の方法について学びます。また、より実践的な能力を身に付けるため、企業にご協力いただき、インタビュー調査を行う予定です。 4 年生は、各人が興味を持ったテーマについて研究、報告をしていただきます。任意で卒業論文を作成していただく予定です。最終的に、ゼミナールの履修を通じて、自らの意見を自分の言葉で表現できるようになることを目的とします。 ゼミナールの雰囲気は、全体的に真面目で和やかです。ゼミ生が協力しながら授業を進めているように感じます。とくに計算演習の時間には、互いに教えながら進めているようです。この雰囲気を維持できるようにしていければと思います。ゼミナールは、学生生活の中で互いに啓発し合える貴重な場です。協力し合って有意義な時間を過ごしましょう。						

ゼミナール紹介

担当者名		金 必中(キム ピルチュン)
e-mail アドレス		pjkim@bunkyo.ac.jp
研究室		3535
在室曜日・時限		月・昼休み&4 限、木・2 限&昼休み&5 限
個別説明会（日時・場所）		月曜日 12:30～13:00 & 15:00～16:20・3535 室 木曜日 12:00～13:00 & 16:30～18:00・3535 室 ※ 希望者はメールでご連絡ください。
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	ゼミ 見学日は設定していません。 個別説明会を活用してください(毎週上記の時間で開催する予定)。
	可否	
	場所	
2025 年度担当科目		マーケティング、マーケティング戦略、マーケティング戦略事例研究、 マーケティング・リサーチ、マーケティング・リサーチ演習、 マネジメント問題解決演習、知へのナビゲーション、知の探究
選抜方法		定員を超過した場合は、 志望動機、成績と面接内容を総合的に判断します。
ゼミナール紹介		金ゼミでは、マーケティング戦略と流通に関連するさまざまなテーマについて勉強する。企業経営やマーケティング、流通、オンライン・マーケティング、消費者に関する諸問題について幅広く具体的に理解するとともに、マーケティング戦略立案の実戦的で専門的な知識とノウハウについて勉強することを、目標とする。 ゼミ I は、事例研究と文献の輪読を通じて知識体系を整いながら、ゼミ参加学生の関心分野を中心に多様なテーマを取り上げて、調査と発表を通じて有効なマーケティング戦略の立案と実行について検討しながら進めていく。必要に応じて企業や市場の見学も行い、環境変化と市場分析、実戦的な知識と調査分析手法についても勉強し習得して、ゼミ生の問題解決能力やプレゼンテーション能力を高めるとともに、ゼミ生全体のレベル・アップを図る。 マーケティング研究は人間の研究でもあり、ゼミの活動やその成果はゼミ生のリレーションシップとチームワークが大切だと考える。したがって、ゼミでは、やる気と誠実さ、マーケティング研究に強い興味や関心をもち、真面目に学問探求に取り組む意思と姿勢をもっている学生達の参加を求める。

ゼミナール紹介

担当者名		首藤 洋志				
e-mail アドレス / 研究室		shuto@bunkyo.ac.jp / 3414 研究室				
在室曜日・時限		火、水、木。事前にアポイントのメール連絡後、個別相談日時等の調整を行う。				
個別説明会(日時・場所)		11/26(水)を除く授業終了後に、ゼミ生と教員によるゼミ説明会を実施する。参加希望者は、ゼミ見学に参加することを推奨する。				
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/5 水:1 限 通常ゼミ	11/12 水:1 限 通常ゼミ	11/19 水:1-2 限 コラボゼミ	11/26 水:3-4 限 ゲストゼミ	12/3 水:1 限 通常ゼミ
	場所	ゼミ見学(+ゼミ説明会)の参加希望者は、希望日の 3 日前までにメール(学籍番号、氏名、希望日を記載)で連絡すること。ゼミ見学人数確定後、詳細を連絡する。				
2025 年度担当科目例		財務会計論、企業会計、基礎簿記演習、中級簿記、デジタル表現基礎、監査論				
選抜方法		①ゼミナール見学状況、②Google フォームに記載の志望動機、及び③成績(GPA)を総合的に勘案して選抜を行う。なお、志望者全員と面談を行う。				
ゼミナール紹介		概要 《基礎》財務会計・国際会計(IFRS)・財務諸表分析 学術論文の精読〔チームプレゼン→Q&A→ディスカッション〕 財務諸表(経営)分析〔チームプレゼン→Q&A→ディスカッション〕 《発展》会計(財務報告)×経営(ダイバーシティ、サステナビリティ及びパーパス) 研究+発表(主に秋学期。GOAL は International Seminar での発表。) 《通年》輪番読書〔個人読書プレゼン→Q&A→ディスカッション〕 到達目標 ➤ ゼミの仲間と協働し、多様性を受け入れる。 ➤ 主体的に考え、積極的な姿勢でプレゼンとディスカッションに参加する。 ➤ 財務諸表の分析手法を学び、財務諸表を読むことができるようになる。 ➤ 各自半期ごとに目標を定めて、その目標達成に向けて努力する。 ➤ 4 年次には、卒業論文を執筆する。 教員が大事に考えていること ➤ ゼミの主役はゼミ生。ゼミに対する前向きな姿勢・意欲を大切に。 ➤ 一生懸命学び、仲間と切磋琢磨しながら挑戦し、大きく成長する意識をもつ。 ➤ 社会人になるための基礎的な礼儀作法を習得し、社会的な心構えをもつ。 ➤ 同学年のゼミ生、先輩ゼミ生(4 年生・卒業生)とのつながりを大切にする。 ➤ 学びも遊びも全力で! イベント・企画 ➤ 本ゼミに参加する学生は、2 月に開催される International Seminar(日韓ビジネスプレゼンテーションセミナー)における研究発表(英語)を年間目標とする。 (参考)2025 年:釜山(韓国)で開催。2026 年:北九州市(福岡県)で開催予定。 ➤ ゼミ生主導により、課外企画(ゼミ合宿、華叉祭への出店)を企画する。 参考情報 ゼミ公式 HP: https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/business/learn/seminar/class17/ ゼミ公式 Instagram: https://www.instagram.com/shuto_zemi ゼミに関するエッセイ: 多様な仲間との協働、挑戦を通じて、ともに成長する				

ゼミナール紹介

担当者名		高良 佑樹						
e-mail アドレス		y-takara@bunkyo.ac.jp						
研究室		3433 研究室						
在室曜日・時限		金曜 4 限						
個別説明会（日時・場所）		希望者の数に合わせて個別に対応する，希望者は必ず上記アドレスにメールを送ること．なお後期は PC 演習を主に行っているためゼミ見学は実施しない．						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/15
	可否	×	×	×	×	×	×	×
	場所							
2025 年度担当科目		基礎統計，基礎統計演習，統計学概論，統計モデル分析，経済データ分析，プログラミング，ビッグデータ・AI 演習，地理情報システム，知のリテラシー						
選抜方法		志望動機および成績 (GPA 等) から総合的に判断する．						
ゼミナール紹介		本ゼミナールでは<u>経済データ分析の手法</u>，およびその結果に基づいて<u>議論を行う力を養成すること</u>を目標とする． 近年における ICT 技術の進歩によって，様々なデータ分析手法を比較的容易に実行することが可能となっており，データ分析は我々の生活において身近なものとなりつつある．社会においても，たとえば行政において「証拠に基づく政策立案(Evidence Based Policy Making, EBPM)」の重要性が取り上げられているように，<u>データを用いた議論を行うスキルは今後必須のスキルとなる</u>ことが予想される． 本ゼミナールでは<u>経済データを分析する手法</u>を学ぶとともに，データ分析によって得られた結果を用いて<u>議論を行う力</u>や，分析結果の妥当性を判断する力を養成する． 具体的には，以下のスケジュールでゼミを行う． ゼミナールⅠ前期：「因果推論」に関するテキストの輪読 ゼミナールⅠ後期：PC を用いたデータ分析手法の実践演習 ゼミナールⅡ：卒業研究に向けたデータ分析の実践 その他外部講師による講演会や，希望に応じて懇親会やゼミ合宿(国内 or 国外)も実施する予定である． 「経済データ分析」と聞くと難しそうな印象を受けるかもしれないが，実際にはこれを学ぶことで「テレビを見ると学力は下がるのか」「良い大学に行くと年収はあがるのか」といった<u>日常生活で直面する問題に対して正しく向き合う</u>ことが出来るようになる．<u>且日常生活の諸問題について深く取り組んでみたい方は，説明会に参加することをすすめる．</u> なお担当教員は<u>文化に関する統計分析</u>(音楽，映画，芸術鑑賞，コンテンツ産業等)に取り組んでいる．<u>これらに興味がある方にも説明会への参加をすすめる．</u>						

ゼミナール紹介

担当者名		田中 克昌						
e-mail アドレス		k.tanaka@bunkyo.ac.jp						
研究室		3510 研究室						
在室曜日・時限		月、火、水						
個別説明会（日時・場所）		ゼミ見学のみです。見学は田中宛（上記メールアドレス）に事前連絡ください ※ゼミ見学の場所は変更になることがあります						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17
	可否	—	可	可	可	可	可	可
	場所	—	3302	3302	3302	3302	3302	卒論発表会
2025 年度担当科目		経営戦略論、情報化戦略、ビジネスモデル設計、ベンチャー企業戦略論、ゼミナールⅠ、ゼミナールⅡ、知の探究、知の基礎能力						
選抜方法		志望時の文章、ゼミ見学、大学での活動、GPA 等から総合的に判断します						
ゼミナール紹介		経営学部・田中克昌ゼミナールでは、課題解決型学修（PBL：Project Based Learning）を中心に、学生が SDGs やカーボンニュートラルの視点から自ら社会や地域の課題を発見し、経営戦略の理論と実践の両面から解決策を提案しています。 PBL を通じて企業や地域と連携しながら、社会的価値と経済的価値の両立をめざす「共通価値の創造（CSV：Creating Shared Value）」の視点を重ねて学ぶことで、学生は主体的に考え、行動する力を身につけ、大きく成長することができます。 2025 年度からは、これまでのビジネスコンテストにおける実績（3 連覇）を活かし、企業や地域と連携した課題解決型学修を新たな段階へと発展させていきます。企業では、消臭力等を展開するエステー(株)様、地域では足立区様と連携し、社会課題を起点としたビジネスプランの提案活動を行っています。 【田中ゼミの主な実績】以下の Web サイトからご確認ください。 https://www.bunkyo.ac.jp/faculty/business/learn/seminar/class21/ ・ビジネスコンテストでの実績（3 連覇など） ・足立区から感謝状を授与された小学生向け起業塾の支援 ・沖縄ゼミ合宿 ・大阪・関西万博への合宿 ・東京農業大学や駒澤大学などとの合同ゼミ なお、華又祭では、トリドール持続可能ビジネスコンテストの優勝賞品として、丸亀製麺のキッチンカーが来訪し、11 月 8 日(土)にうどん 200 食を無償配布します。また、田中ゼミとしても 2 日間、ホットドッグ店を出店します。						

ゼミナール紹介

担当者名		遠山道子						
e-mail アドレス		toyama3@bunkyo.ac.jp						
研究室		3431						
在室曜日・時限								
個別説明会（日時・場所）								
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5 (11/3)	11/12	11/19 (11/17)	11/26 (11/24)	12/3 (12/1)	12/10 (12/8)	12/15
	可否	×	×	×	×	×	×	×
	場所							
2025 年度担当科目		アメリカにて研修中のため、担当科目なし						
選抜方法		定員超過の場合は履修状況により選抜を行う						
ゼミナール紹介		このゼミでは、「言葉」と「心理」「文化」の関係を、ビジネスや社会のコミュニケーションに結びつけて探究します。たとえば、広告や商品パッケージに使われる言葉やフォントの印象、声の抑揚や話し方が聞き手の理解や好感度に与える影響、異文化間での伝え方の違いなどをテーマに、心理学的視点から分析します。前期は論文の検索・読解・発表・討論を通して理論的理解と発信力を磨き、後期は調査票や簡単な実験法を用いて小規模な研究を実施します。グループ活動を通じて、データに基づいて考え、意見を伝え合う力を育てます。言葉と人の心の関係を理解し、社会や職場でのより良い伝え方を考えたい学生に適しています。						

ゼミナール紹介

担当者名		西川 みな美					
e-mail アドレス		mnishikawa@bunkyo.ac.jp					
研究室		3411					
在室曜日・時限		火曜日 4 限					
個別説明会（日時・場所）		上記アドレスにアポイントの連絡をお願いします。					
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10
	可否	ゼミ見学あるいはゼミ生・教員との相談を希望する場合は、 上記アドレスまで事前にご連絡ください。					
	場所						
2025 年度担当科目		流通論、デジタル・マーケティング、新製品開発、ブランド・マネジメント					
選抜方法		志望理由書、成績、面接（必要に応じて実施）					
ゼミナール紹介		◎到達目標：流通・マーケティングに関する研究、ディスカッション、プレゼンにひとりひとりが主体的に取り組み、考える力を鍛える。 <u>何を学ぶゼミ？</u> 流通・マーケティングを研究するゼミです。日ごろ、この企業のマーケティング活動はどんな意味があるのだろうか？、消費者はこれにどんな反応を示すのだろうか？、といった素朴な疑問を抱くことがあると思います。研究とは、このような現実の流通・マーケティングに関する問いを立てて、先行研究やデータを集め、問いに対する答えを明らかにするプロセスです。実践的なマーケティング・スキルを身に着けるゼミではありませんが、世の中の問題や自らの疑問を掘り下げ、自分の頭で深く考えることに徹底的に取り組めます。 <u>どんなことに取り組む？</u> 3 年生ではグループ研究に取り組み、秋から冬にかけて他大学との合同ゼミや学会等でグループ研究の成果を発表します。そのために、春はマーケティングの基礎固めのテキスト・論文の輪読からはじまり、グループ研究のテーマ決め、秋にはグループ研究の調査・発表・論文作成に取り組めます。そして 4 年生では 1 年間を通じて個人で卒業論文に取り組めます。（※卒業論文は必須です） <u>ゼミの特徴：自分の希望に合うゼミかを検討するうえで参考にしてください</u> ・モットーは「主体的に学ぶ」。勉強や授業に限らず何事も、興味がないまま受け身の姿勢でいても、つまらないし得るものも少ないです。自ら関心をもって前向きに学問に取り組むことで、面白さや成長を実感できます。 ・毎週、グループ発表と全体でのディスカッションを行います。そのためゼミ以外の時間に、文献を読み込んだり、グループで話し合いながら協力して準備する必要があります。また、合宿や他大学との合同ゼミ等も実施予定です。 ・一人一役（チーム長・企画・渉外、等）を担い、ゼミ生全員でゼミを運営します。ゼミ生同士・教員が話し合い、協力しながら運営するスタイルです。					

ゼミナール紹介

担当者名		根本 俊男						
e-mail アドレス		nemoto@bunkyo.ac.jp						
研究室		教育研究棟 4 階 3422 研究室						
在室曜日・時限		水曜日・金曜日						
個別説明会（日時・場所）		特に説明会は実施しませんが、個別相談で対応します。研究室のドアを気軽にノックしてください。水・金曜日に在室していることが多いです。						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/17
	可否	×	×	×	○	○	○	×
	場所	教室変更時は 2207 に案内→			2207	2207	2207	卒業研究 発表会
2025 年度担当科目		スケジューリング，ネットワークモデル分析 A/B，最適化モデル分析，問題解決技法演習，経営情報特論（大学院）						
選抜方法		「ネットワークモデル分析 A」及び「同 B」の単位を修得済または現在履修中で単位修得見込みの状況であることが志望の前提条件です。志望者多数の場合は、「ネットワークモデル分析 A/B」の授業参加状況と成績を基に選抜します。						
ゼミナール紹介		現代社会で重要な能力として広く認知され、強く求められている能力の一つは「問題解決力」です。根本ゼミナールはこの「問題解決力を有した人材」を育てるゼミナールです。ゼミナールで用いる主な道具は、科学的手法で問題解決に切り込むオペレーションズ・リサーチ(OR)です。ゼミナール志望の前提条件となっている「ネットワークモデル分析 A/B」など DS/OR 分野の講義群を通じて OR の基礎はすでに習得していると思います。それらの知識を 3 年時の学習でさらに増強し、ゼミナールでさらに深め、総合的に結び付けて思考する訓練を通じて、様々な課題の解決に向き合える能力獲得を到達目標とします。 このように書くと、理論的なイメージを抱くかもしれませんが。しかし、問題解決力の養成には、理論だけでなく実際の課題に取り組んでみるのが効果的です。そこで、ゼミナールでは手と頭の両方を実際に動かし、様々な問題解決の実践を通じて問題解決力を養います。 具体的には、3 年次前半では主に問題解決手法に関する専門書に沿い各自が発表し、議論を通じて問題解決に必要な基礎知識や基礎ツールの使い方の補強を行います。あわせて、物事の見方の図解法、他者とのコミュニケーション手法のトレーニングも行います。夏休みには、全員参加で夏合宿を実施します。3 年次後半では、実習で理解を深めます。問題解決に利用できるソフトウェアも扱います。学外での政策/ビジネスコンテストへチャレンジするゼミ生もいました。4 年次には全員が個別に卒業研究に取り組みます。そして、大学 4 年間の学びの集大成となる卒業論文をまとめます。 新しいことに挑戦したり、わからないことを思考したりするのが嫌いではない。ただ、今までは具現化が足りなかったかもしれない。しかし、「自分で取り組んだ!」と実感できる創造的な活動を通じて大学を楽しみたい(卒業したい)との願望を持っている方にお勧めしたいゼミナールです。						

ゼミナール紹介

担当者名		堀田 敬介						
e-mail アドレス		khotta@bunkyo.ac.jp						
研究室		3530						
在室曜日・時限		月・火・(水)						
個別説明会（日時・場所）		単独の説明会是不行わない。質問等はメールにていつでも受付。ただし、メールの書き方は気をつけよう。研究室在室時はアポなしで質問に来てても良い						
ゼミ見学可能日 （日時・場所）	日付	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15
	可否	○	学園祭	○	○	○	○	○
	場所	3301	—	3301	3301	3301	3301	3301
2025 年度担当科目		「問題解決技法入門」「問題発見技法」「知の基礎能力」「知の探究」「意思決定科学」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」「卒業論文」						
選抜方法		前提科目を満たしていること。定員を超えた場合、前提科目の成績上位の学生を優先する。面談等は実施しない						
ゼミナール紹介		企業や公的機関、組織や社会には、解決を待っている問題がたくさん潜んでいる。より良い活動や組織運営のためには、それらの問題を見つけ出して（問題発見）、きちんと定義し（問題定義）、改善のために適切なモデル化を行い、上手く解き、得られた解を評価し、解決策を提示する（問題解決）、という一連の意思決定過程を要する。昨今、巷では AI が話題であるが、そこで重要な影の技術の 1 つが最適化である。 本ゼミでは、1, 2 年次に得た基礎知識を再確認し、最適化やシミュレーションを用いた問題発見・問題解決の勉強に取り組む。これらの手法について、その前提となる知識の再確認・演習と、使いこなすための講義・演習を行う。学生が、現実の事例や、将来、自身に関わる問題について、問題発見、モデル化・定式化から解の導出、評価・改善・提案を一人で実施できるよう、最適化やシミュレーションの技術・知識をしっかりと身につけることを目標とする。 ゼミに所属した際には、「DS/OR 系」のうち以下 5 科目を履修することを課す。これらは全て、本ゼミの目標達成に必要な知識・技術であるので、それぞれしっかり取り組み単位取得して欲しい。 標準履修 2 年次の 3 科目（未修得の場合） 3 セメ「問題発見技法(2)」「スケジューリング(2)」「ネットワークモデル分析 A(2)」 4 セメ「ネットワークモデル分析 B(2)」 標準履修 3 年次の 2 科目 5 セメ「最適化モデル分析(4)」 6 セメ「意思決定科学(2)」 ※ただし、卒業に必要な必修/選択必修科目と曜日時限が重なる場合は、そちらの科目を優先してよい						

ゼミナール紹介

担当者名		山本 顕一郎						
e-mail アドレス		yamamoto@bunkyo.ac.jp						
研究室		3427 研究室						
在室曜日・時限		(月曜 1・3 限、水曜 1・2 限、木曜 3 限に授業；その前後に在室)						
個別説明会 (日時・場所)		実施しない (個別に対応はします)						
ゼミ見学可能日 (日時・場所)	日付	11/5	11/12	11/19	11/26	12/3	12/10	12/15
	可否	○	○	○	○	○	○	×
	場所	1105	1105	1105	1105	1105	1105	1105
2025 年度担当科目		民法Ⅰ、民法Ⅱ、会社法、情報と法、経済・経営活動と法、知の探究						
選抜方法		まず前提条件として民法Ⅰの単位取得している(またその見込みである)こと。その上で、定員を超過した場合には、法学系科目の単位取得状況・成績、その他科目の成績を参照し、かつ面接を行って決する。						
ゼミナール紹介		ゼミでは、情報通信ネットワークにおける法律問題を掘り下げて学んでいく。ゼミⅠでは、基本的な知識を得るため、指定した教科書を講読する。 具体的には、教科書の一部分をゼミ生に割り当て、事前に読んで補充的な調査も行ってもらい、レジュメを作って提出してから、授業において発表・報告・質疑応答を行う。これらを繰り返す。 (ちなみにゼミⅡでは、ゼミ生が個別のテーマを設定して、自由にリサーチを行っている。) 法学は、社会科学の中でもさらに地味な学問なので、細かくて辛気臭い議論を行っていくことになる。この作業を通して、実務に就いたときなどに役立つ知識・技能を得ていくこととする。 ゼミナールでは、ネットワークと法に関して少人数で問題に深く切り込んで調査・考究することを目的としており、この分野の知識を身につけ、的確な情報収集と分析を行い、議論を通じて思考を深め、調査し考えたことがらを過不足なく伝え、また文書などにまとめていく作業を行うものである。 詳しくは、シラバスを参照のこと。その上で何か質問等がある場合には、個別に対応する。						